

各 位

上場会社名 東京鋼鐵株式会社  
 代表者 代表取締役社長 南 良隆  
 (コード番号 5448)  
 問合せ先責任者 取締役経理部長兼総務部長 小口 芳一  
 (TEL 0285-22-1335)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,700	350	350	180	10.32
今回発表予想(B)	5,880	664	677	404	23.20
増減額(B-A)	180	314	327	224	
増減率(%)	3.2	89.6	93.4	124.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	12,903	2,021	2,046	1,100	63.17

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,600	1,000	1,000	550	31.57
今回発表予想(B)	12,400	1,300	1,300	750	43.04
増減額(B-A)	△200	300	300	200	
増減率(%)	△1.6	30.0	30.0	36.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	18,842	3,088	3,116	1,751	100.58

### 修正の理由

第2四半期累計期間における個別業績予想につきましては、適正な製品販売価格交渉を粘り強く行うことにより、売上高は前回予想を若干ではありますが上回ることができました。また、国外販売の主力である鋼片受注を積極的に確保し、当社の最適生産量へ近づけることでコストダウンを図ったことが功を奏し、営業利益は予想を大幅に上回りました。経常利益及び当期純利益につきましても、営業利益の増加により前回予想を大幅に上回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、流通の在庫意欲が低水準であることに加え、原材料の鉄スクラップ価格が、近隣諸国の強い購入意欲と国内高炉メーカーにおける使用量増加により強含みで推移すると予想しておりますが、地道な営業活動を行い利益の上積みを計る所存であります。

※上記予想は、資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

以 上